

# 環境保全

## トップメッセージ



代表取締役 社長執行役員  
安田正介

### 持続可能な社会の実現に向けて

近年の自然災害の激甚化に象徴されるように、今や気候変動問題は、人類共通の重要課題となっています。SDGsでは、「気候変動及びその影響の軽減」「持続可能な生産消費形態の確保」など、環境保全を含む持続可能な世界に向けて取り組むべき17の目標と169のターゲットが合意されており、国だけでなく、企業にも積極的な関与が求められています。建設関連企業や住宅メーカーからも、ロングライフ商品や環境負荷の少ない商品が、より一層求められるようになりました。

こうした社会や地球環境に関する課題解決は、サンゲツグループにおいてもESG課題における重要なテーマと捉えています。この認識のもと、2020年5月にはサンゲツグループ長期ビジョン【DESIGN 2030】を策定し、今後サンゲツグループが実現

を目指す社会的価値として、「みんなで (Inclusive) 、いつまでも (Sustainable) 、楽しさあふれる (Enjoyable) 社会の実現」を掲げました。住宅や商業、オフィス、ホスピタリティ産業など、あらゆる建築物に対して、SDGsのゴール11「住み続けられるまちづくり」(Sustainable)をはじめとした事業活動と関わりの深い目標に重点を置き、その達成に向け貢献してまいります。

その内のひとつとして掲げている「Sustainable (いつまでも) : 地球環境を守るサステナブルな社会の実現」では、気候変動、海洋・土壌汚染などに加え、高齢化・人口減少の深刻化、首都圏への人口集中などによって増加している使用されない住宅・建物に対し、サプライチェーン全体の環境負荷を低減することとともに、長く使い続けられる空間の創造を通じてストック建築物の有効活用を進めていくことで、地球環境を守るサステナブルな社会の実現に貢献します。

そして、環境面におけるマテリアリティとしては、①事業活動における環境負荷の低減 (GHG、エネルギー、廃棄物、リサイクル率)、②サプライチェーンにおける環境負荷の把握と低減、③ロングライフ商品の拡充、④見本帳の回収・リサイクルの拡大、の4つの課題を特定しました。中期経営計画【D.C. 2022】では、これらの課題への対応方針、定量・定性目標、改善計画を設定し、課題解決に向けた取り組みを進めております。

CSR/ESG活動をグループ全体で推進し、社員一人ひとりが誠意を持って社会や地球環境に関する課題解決に取り組んでいくことは、持続可能な社会の実現を達成するために大きな意味を持つものであると同時に、グループ全体の企業価値向上につながるものであると確信しています。サンゲツグループはこれからも、持続可能な社会の実現に向けた着実な取り組みを進め、すべてのステークホルダーの皆さまとともに、新しい価値創造のよろこびを分かち合える企業になることを目指してまいります。